

年度「2019年度シラバス」、フォルダ「名古屋校舎-協定留学生（日本語コース）」
シラバスの詳細は以下となります。

ナンバリング			
科目名	日本語Ⅲ（会話・聴解）		
担当教員	高村 めぐみ		
対象学年		クラス	B
講義室	L704	開講学期	秋学期
曜日・時限	木1	単位区分	
科目種別		単位数	
準備事項			
備考			
テーマ Theme	初級で学んだ基礎的な日本語から一歩進み、日常生活に必要な日本語中級レベルの話す力、聴く力を身につける		
概要 Synopsis	<p>「Culture Notes」： クラスで話し合い、日本文化の理解を深める。</p> <p>「会話」： まずは、自然な日本語で話されている会話を理解する。また、ここで談話展開を意識しながら聞くことができるようになる。</p> <p>「会話練習のポイント」： 場面、機能を意識しながら、コミュニケーションに必要な会話を覚える。</p> <p>「運用練習」： 「会話練習のポイント」で身につけたフレーズを使って、練習（ロールプレイやグループワーク）を行う。</p> <p>「作文」： クラスのディスカッションをもとに、各自宿題として行う。次週提出。</p> <p>「聞き取り練習」： 宿題として各自CDを聞く。次週クラスで答え合わせをする。</p>		
到達目標 Aim	<p>① 留学生の日本での生活を題材に使い、日本に対する理解を深めながら「話す」能力と「聞く」能力を並行的に伸ばすことを目標とする。</p> <p>② 「話す」能力では、相手や場面に適切に話す能力をつけ、より自然な日本語を使えるようになることを目標とする。</p> <p>③ 「聞く」能力では、場面は必要性に応じて、必要な情報が聞き取れるようになることを目標とする。</p>		
授業形態 Class style	ペアワーク、グループワークを含む一斉授業		
使用言語 Language(s)	<p>1. <input type="checkbox"/> 日本語のみ Japanese only</p> <p>2. <input type="checkbox"/> 日本語と外国語 Japanese and foreign language(s)</p> <p>3. <input type="checkbox"/> 外国語（日本語以外）のみ Foreign language(s) other than Japanese</p>		
アクティブ・ラーニング Active Learning	<p>1. <input type="checkbox"/> PBL（課題解決型学習） Project-based learning</p> <p>2. <input type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート Discussion, Debate</p> <p>3. <input type="checkbox"/> グループワーク Group work</p> <p>4. <input type="checkbox"/> プレゼンテーション Presentation</p> <p>5. <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク Applied practice, Fieldwork</p>		
内容・スケジュール Contents, schedule	<p>第1回 オリエンテーション、 第1課「はじめて人に会う」</p> <p>第2回 第2課「あいさつをする」</p> <p>第3回 第3課「頼む」</p> <p>第4回 第4課「許可をもらう」</p> <p>第5回 第5課「質問する」</p> <p>第6回 第6課「注文する」</p> <p>第7回 第7課「人を誘う」</p> <p>第8回 第8課「仕事を探す」</p> <p>第9回 第9課「あげる/もらう」</p> <p>第10回 第10課「予約する」</p> <p>第11回 第11課「文句を言う」</p> <p>第12回 第12課「病状を訴える」</p> <p>第13回 第13課「過去の経験を述べる」</p> <p>第14回 第14課「自分の意見を述べる」</p> <p>第15回 期末試験</p>		
準備学習・事後学習 Preparation, review	<p>事前学習： ・「Culture Notes」を読んで内容を把握しておく。 ・「会話」の箇所のCDを何度も聞いておく。</p> <p>事後学習： ・「作文」のパートは、毎課宿題にする。次の授業の時に提出をしなければならない。 ・「聞き取り練習」のパートは、毎課宿題にする。次の授業の時に教師がきちんとやってあるかチェックする。（また、内容理解の確認のため、小テストを行う。</p>		
学外授業 Outside activities	なし		
成績評価の方法と基準 Evaluation&criteria	<p>平常点（出席、授業態度を含む） 30%、</p> <p>提出物、宿題 30%、</p> <p>定期試験 40%</p> <p>※15分以上の遅刻（早退、途中退室を含む）は欠席とみなす。 ※15分以内の遅刻3回で、1回の欠席となる。 ※欠席5回で不合格となる。 ※授業ではペアワークやグループワークを多く行うので、積極的に参加しているかどうか評価対象となる。</p>		
定期試験期間中の試験実施方法 Exam period	<p>1. <input type="checkbox"/> 定期試験期間中に筆記試験を実施する。An exam will be held during the exam period.</p> <p>2. <input type="checkbox"/> 定期試験期間中に単位レポートを課す。A report must be submitted during the exam period.</p> <p>3. <input type="checkbox"/> 定期試験期間中には筆記試験・単位レポートを実施しない。No exams or report are required during the exam period.</p>		
テキスト Textbooks	『中級の日本語』『中級の日本語ワークブック』The Japan Times		
参考図書 References	特になし		
関連する科目、履修者への要望 など Requests,etc.	授業中の積極的な発言を期待する。		
リンク Link	事前学習、事後学習は履修者全員が行ってきているものとして授業を進行する。		